

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +85℃（注1）		保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃（注2）		
	電 圧	AC 30 V		使用湿度範囲	相対湿度 95%以下 （ただし、結露しないこと）		
	電 流	0.3 A					
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○ ○	
	表示	目視にて確認する。				○ ○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）で測定する。		100 mΩ以下		○ —	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		50 MΩ以上		○ —	
	耐電圧	AC 100 Vの電圧を1分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○ —	
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 64.0 N以下 引抜力 6.4 N以上 		○ —	
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 軸方向 各 10サイクル試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3軸両方向 各 3 回試験する。				○ —	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。		① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 25 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	温度サイクル	温度 -55→+15～+35→+85→+15～+35℃ 時間 30→ 2 ～ 3 → 30→ 2 ～ 3分 を 5 サイクル試験する。		① 接触抵抗： 120 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○ —	
	塩水噴霧	濃度 5 % の塩水、48 時間放置する。		はなはだしい腐食がないこと。		○ —	
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、 96 時間放置する。 （試験規格：J I S C 0 0 9 0）				○ —	
	はんだ耐熱性	リフローの場合：ピーク温度 MAX250℃ 220℃以上 60秒以内		外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。		○ —	
		はんだごての場合：こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				○ —	
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。		○ —	
△の数		訂正記事		設計		検図	年月日
	1	DIS-F-006120		TS. 00NO		HT. YAMAGUCHI	12. 03. 26
備考 注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				承認		HS. OKAWA	05. 09. 30
				検 図		HT. YAMAGUCHI	05. 09. 30
				担 当		KY. NAKAMURA	05. 09. 30
				製 図		KY. NAKAMURA	05. 09. 30
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC4-156013-00	
		製 品 規 格 表		製品名		FX12B-60P-0.4SV	
		ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL573-1007-6-00	 1/1